

韮崎市制施行 65 周年記念事業

# 相田 みつを展 にんげんだもの

2019年8月3日(土)  
— 9月16日(月・祝)

会場

韮崎市民交流センターニコリ  
地下アートギャラリー1・2

開館時間 10:00～17:00 (入館は閉館の30分前まで)  
※オープン初日8月3日は13:00より開館  
※最終日9月16日(月・祝)は15:00閉館

休館日 8月19日(月)

入館料 一般・大学生500円／小中高校生は無料  
※障害者手帳をご持参の方はご本人と介護の方が1名無料  
(手帳の提示をお願いします)

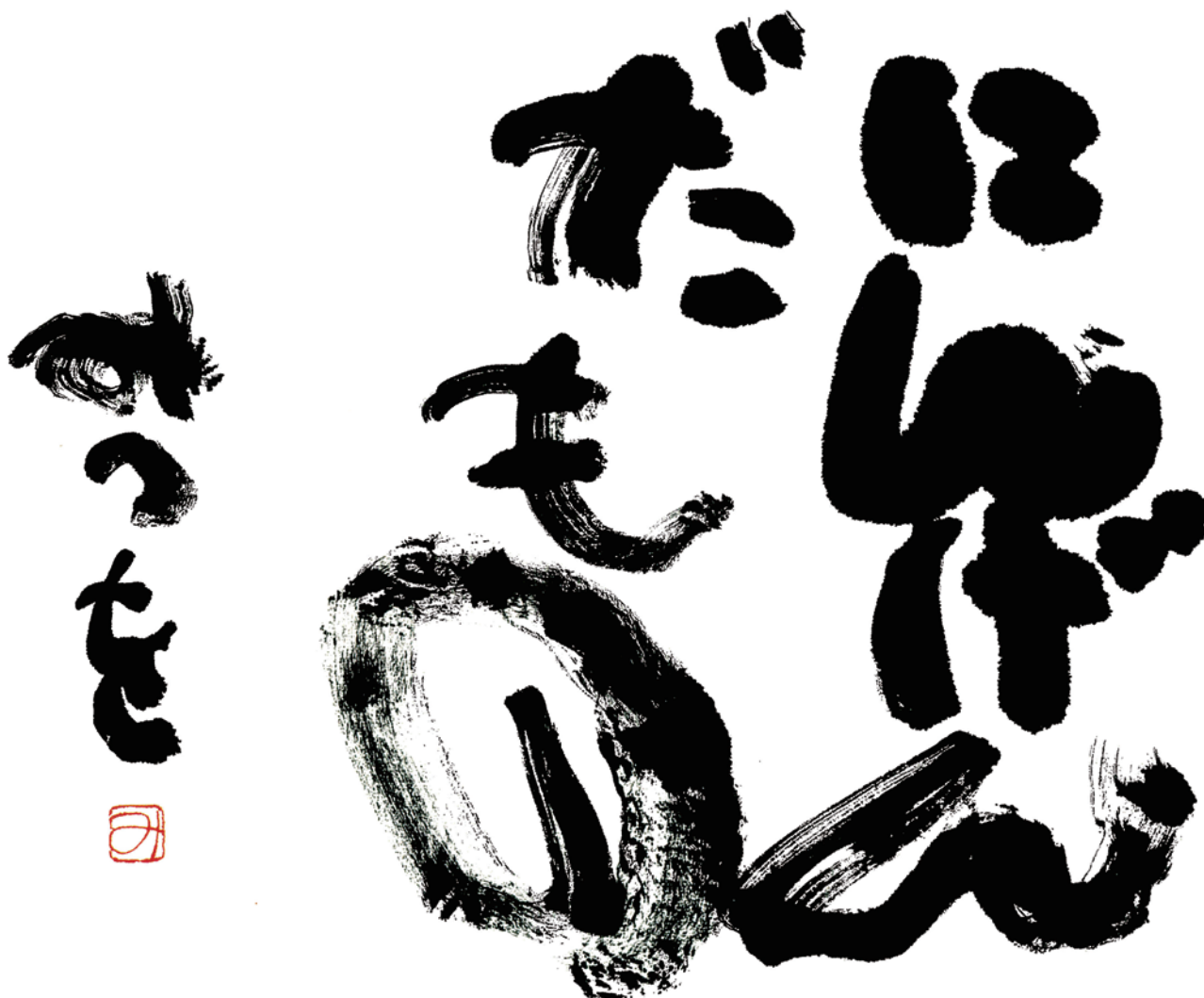
【主催】 韮崎市、韮崎市教育委員会、韮崎大村美術館

【主管】 株式会社まめいく

【特別協力】 相田みつを美術館

【後援】

山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、テレビ朝日甲府支局、朝日新聞甲府総局、読売新聞甲府支局、毎日新聞甲府支局、産経新聞甲府支局、山梨新報社、日本ネットワークサービス、エフエム富士、エフエム甲府、エフエム八ヶ岳、nanairo 株式会社、韮崎ジャーナル



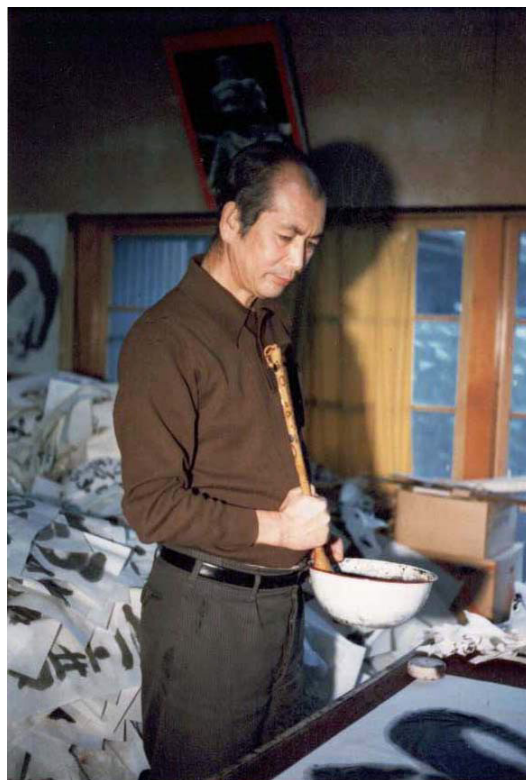
# 相田みつを展

## にんげんだもの

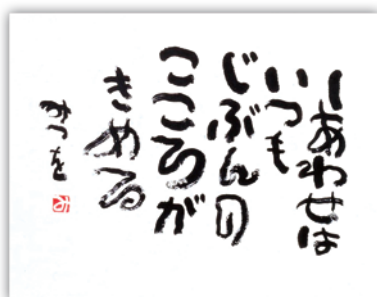
2019年8月3日(土) - 9月16日(月・祝)

相田みつを(1924-1991年)は、栃木県足利市に生まれた書家、詩人です。19歳の頃に書家・岩澤溪石に師事し、書の基礎を学びました。20代の頃は伝統的な書の様式に倣った作品を制作していましたが、30代の頃から飾らないことばで独自の書のスタイルを確立させ、人間のありよう、生き方、いのちの尊さを考えさせる作品を数多く残しました。それらの作品は、年代を問わず親しまれ、今も多くの人々に感動を与え続けています。

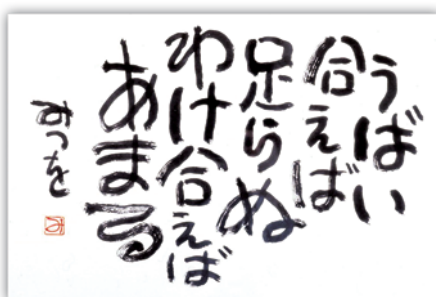
このたび相田みつを美術館の特別協力をいただき、同美術館が所蔵する代表作を中心に、約60点の作品と愛蔵品や原稿資料等も展示します。時代を超えてもなお「生きるちから」を与え続けている相田みつをの世界をどうぞご堪能ください。



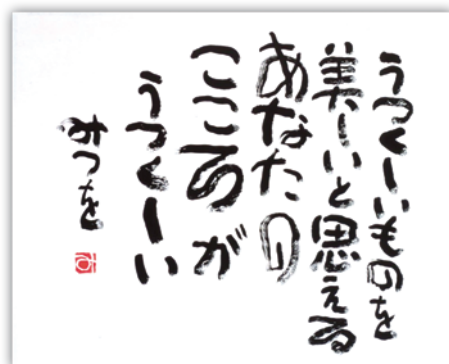
1975年 八幡町日アトリエ



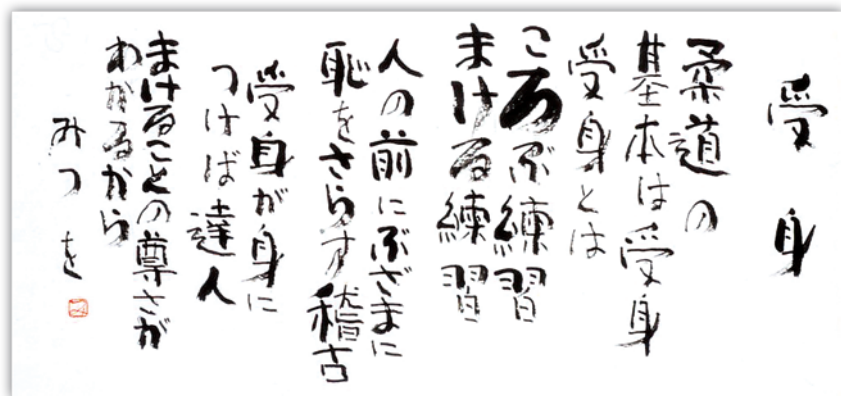
「しあわせはいつも」1990年



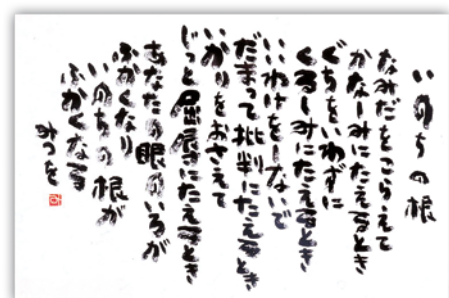
「うばい合えば」1989年



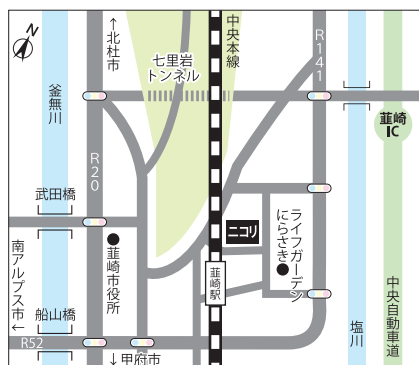
「うつくしいものを」1975年



「受身」1972年



「いのちの根」1979年



### 韮崎市民交流センターニコリ

〒407-0015  
山梨県韮崎市若宮 1-2-50

☎0551-22-1121  
<http://www.nirasaki-nicori.jp>

#### 交通のご案内

電車をご利用の場合：JR 韮崎駅より徒歩1分  
お車をご利用の場合：中央自動車道・韮崎IC下車10分  
※立体駐車場有(4時間まで無料)

#### 関連イベント

記念ギャラリートーク

### 「父 相田みつをを語る」

8月3日(土) 午後2時~(約20分)

講師 相田一人(相田みつを美術館館長)

会場 韮崎市民交流センターニコリ  
地下アートギャラリー1・2

※お申し込み不要・要入館料